

# 令和2年度学校自己評価システムシート（県立川越工業高等学校 定時制）

目指す学校像	社会の変化に主体的に対応できる力と自立する力を育成する
--------	-----------------------------

重点目標	1 基礎学力の定着を図る 2 地域社会や家庭との連携を推進する 3 進路実現を目指す
------	--

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。  
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	12名
	生徒	6名
	事務局(教職員)	18名

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	
1	<b>【現状】</b> ・多様な生徒が在籍しており、授業に集中させるため、学習に取り組む指導を行い、落ち着いた雰囲気の中で授業が進められている。 <b>【課題】</b> ・授業や部活動など学校活動に積極的に取り組む授業態度の育成。 ・多様な生徒に対応した新教育課程の検討・策定	・基礎学力の定着及び指導力の向上と学習環境の整備  ・特色ある現行教育課程を踏まえた新教育課程の検討・策定	①教職員で校内巡回指導を行い、規律ある授業を粘り強く実践する。 ②ICT 機器やアクティブラーニングを活用し、生徒に興味関心を高める授業を実践する。 ③教科間の連携と多文化共生推進員及び学習サポーターの活用により、多様化する生徒の支援を行う。 ④教育課程委員会を中心に研究を進め、新しい教育課程を策定する。	①巡回指導を含め、規律ある授業の維持ができたか。 ②アンケート結果から、学習意欲・理解度等の向上がみられたか。 ③教職員と学習サポーター等の協力体制を深め、きめ細やかな取り組みが実施されたか。 ④令和4年度年次進行に向けた新しい教育課程が策定できたか。	①無断遅刻・欠席・早退なしが上昇、(R1.67.4%→R2.72.9%)学校満足度も上昇した。(R1.84.8%→R2.88.5%) ②スクリーンを使用した授業がわかりやすいが上昇した。(R1.94.5%→R2.95.8%) ③コロナ禍で学習サポーターの活用はできなかった。 ④県教委からの指示・改善事項の訂正を行った。	A	①基本的な生活習慣が定着してきているので、より徹底する。 ②アクティブラーニングを効果的に活用する授業をより多く実施する。 ③学習サポーターの効果的な活用を実施する。 ④観点別評価について、次年度は本校でより研鑽を深めることが必要である。(今年度は、県教委指導主事を招いて実施)
2	<b>【現状】</b> ・HP等を活用し、情報発信を行い、学校評価懇話会において意見交換等を実施している。 ・外部の教育機関との連携を積極的に実施している。 <b>【課題】</b> ・より多くの保護者や外部の方々に、教育活動をご覧いただけるよう周知理解を得る。	・HP等の情報発信  ・開かれた学校づくり	①HP内容を工夫・充実し、迅速にわかりやすい掲載を心がけ更新回数を増加させる。 ②学校行事の案内を早期に発信し、保護者等の参加を促す ③学校評議員会や学校評価懇話会の意見交換や助言を積極的に活用する。 ④SSWや自立支援事業(サポートステーション)等、外部の専門機関との連携を図り、積極的に活用する。	①アクセス数を増やすことができたか。 ②保護者の方や外部の方の参加が増加したか。 ③本年度の反省・まとめを行い、次年度の課題をまとめることができたか。 ④外部の専門機関との連携が強化でき、生徒・保護者に還元できたか。	①アクセス数を増やすことができなかったが、HPに写真や生徒たちの声を多く掲載したり、給食室のHPをリニューアルしたり工夫した。新聞掲載(2回)やNHKテレビ放映(2回)し、発信した。 ④SSW、SC等外部機関の連携は、生徒達の心身の悩みや進路相談など大きく貢献できた。	B	①次年度は学校の日々の細かな行事までできるだけHPに掲載し、また新聞・TV放映など報道回数をより増やし、全国・県・保護者に発信する。 ②③次年度は学校行事等を実施し、保護者等の参加を促したい。 ④外部機関との連携は、年々進行・定着し、教育活動に活かしている。
3	<b>【現状】</b> ・落ち着いた生徒が増えている。 ・多様な個性を持つ生徒の支援を組織的に実施している。 <b>【課題】</b> ・これまでの成果を踏まえ、各年次、各部会、各委員会等で連携し、卒業後自立した社会人として活躍できるよう生徒を支援・指導する。	・規律ある生活態度の育成とともに多様な生徒の状況の理解と支援  ・各組織間で連携した組織的な生徒の卒業後の自立指導支援の構築	①声掛け運動(登下校時・校内巡回等)を実施する。 ②各年次、生徒指導部、特別教育支援推進委員会を中心とし、多様な生徒の情報共有、理解、支援を行う。 ③生徒の進路説明会、短期見習雇用(インターンアルバイト)を積極的に活用し、面接や履歴書指導等を就職支援アドバイザーと行う。	①出席率が向上し、規律ある授業を維持しているか。 ②情報共有、理解、支援を進められているか。会議の回数や対象とした生徒の人数。 ③個々の生徒に応じた進路指導が実施されているか。進路実現した生徒の第一志望の割合。	①出席率は(R1.86.1%→R2.90.2%)上昇し、落ち着いた授業環境である。 ②多様な生徒を各委員会等で共有し、全体で情報共有できた。 ③就職支援アドバイザーと連携し、生徒に適した進路指導を実施。就職内定21名、四大2名、短大1名、専門4名。	A	①授業規律が確立しつつ落ち着いた授業環境となっているので、今後も共通理解し指導していく。 ②課題のある生徒を全体で共有できる取組みをより実践していく。 ③今後も生徒一人ひとりにあった進路指導を行い生徒の自立を支援する取組みを実施する。

学校関係者評価
実施日 令和3年3月1日
学校関係者からの意見・要望・評価等
・無断遅刻、欠席が減少してきていることは、将来仕事に就くことを考えるととてもよい。(評議員) ・生徒に興味、関心のある授業を行っていると感じているので安心している。(評議員) ・アルバイト(仕事)をしてからの座学は生徒にとっても大変であるが、先生方の指導はとてもよく集中させている。(評議員) ・今年度コロナ禍でできなかったことを来年度やってほしい。(評議員)
・HPを必ずみている。行事ごとに「いいね」をしている。来年度は、各行事等だけでなく、普段の授業や実習の様子をさらに掲載してほしい。(評議員) ・今年度の新聞記事掲載やテレビの放映は大変すばらしかった。来年度はもっとメディアに掲載して、川越工業定時制をアピールしてほしい。(評議員) ・教育相談がよく機能している。親として、悩み事を聞いてくれる所があるのは心強い。(定時制PTA会長)
・授業を受ける環境ができてきていることは、先生方の日々の指導力・授業力のおかげである。(評議員) ・授業はICTを使用して、分かりやすい。時々ICTの調子がよくないのも気になります。(評議員) ・授業は分かりやすい。時々欠席する場合がありますが、担任の先生が補講してくれ感謝している。(定時制PTA会長) ・夜遅くまで進路相談してくれて感謝している。(評議員)